

丹精込めて育てた盆栽集め

7日 富士宮富士子柿育成会が展示会
まで

富士宮富士子柿育成会



盆栽が並ぶ展示会場

いを見せた。また、日茶をたてて来場者をも
頃、茶道裏千家淡交会
富士支部から指導を受
けているという茶道班
の生徒は、着物姿で『も
みじ茶会』を開き、お
たというが、午前中の
中華丼、たこ焼き、わ

早い段階で完売する人
気ぶりを見せた。地域
探究部は『しまちゃん
食堂&たじマーケッ
ト』を展開。カレー、
成果を発表した。

実で、実の形は丸やだ
円、円すい、ひょうた
ん形などがあり、色も
赤や紅、オレンジ、黒
など多様。大きさも
個体によって異なり、
会員はさまざまな実を
育てている。

稲葉会長によると、
「今年は水やりなど夏
の暑さ対策が大変だっ
たが、暑すぎたのかカ
メムシが少なかった。
おかげで傷がつくこと
もなかったし、ようや
く寒くなり始めて色も
つき、展示会でも赤い
見頃の实を見ることが
できた」という。

会場には会員31人が
育てた富士子柿15点と
ロウヤガキ20点、今回
新たに「富士子柿」の
登録審査をした作品約
20点のほか、夏に実施
した講座の生徒12人の
作品も展示。赤や黒の
実を見ながら「どつや
つたらこんなに奇麗な
実がつくのか」と盆栽
仲間同士で話し合う姿
があった。また、たま
たまた来庁し「きれいな
実が秋を思わせる」と
魅了される人もいた。

同会は、中国産のロ
ウヤガキの種を富士山
麓で育てた2世以降の
ものを「富士子柿」と
命名し、交配や盆栽な
らではの樹形づくりな
どに取り組んでいる。
富士子柿は小さな柿の

富士子柿についての
問い合わせは稲葉会長
（電090-51109
-3040）へ。